



Corporate Social Responsibility Report 2018

CSRレポート2018





すべてはお客様に安心して快適な環境を提供するために。

CONTENTS



▶P.02
会社案内・組織体制



▶P.09
環境とのかかわり



▶P.25
社員とのかかわり



▶P.03
アースサポートのあゆみ



▶P.14
地域とのかかわり



▶P.29
編集後記



▶P.05
トップメッセージ



▶P.19
社会とのかかわり



▶P.31
アンケート



▶P.06
トピックス



▶P.21
お客様とのかかわり



会社案内 Company profile

名称 アースサポート株式会社

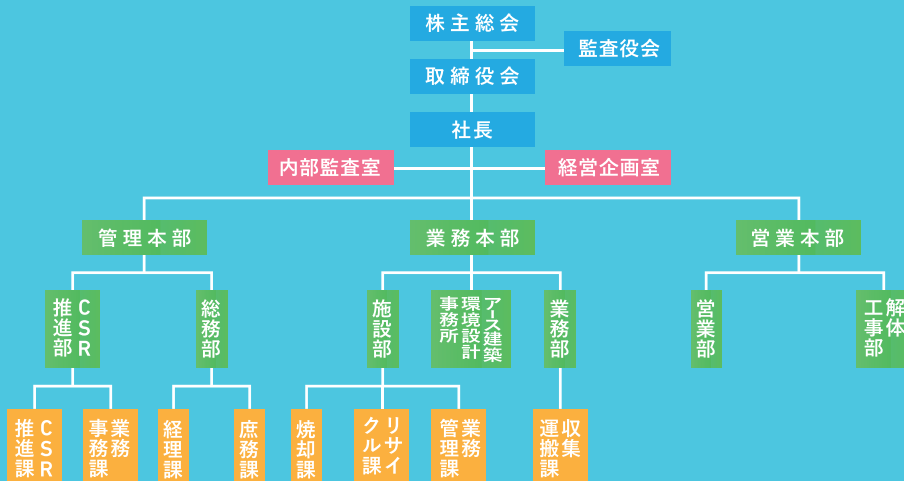
所在地 島根県松江市八幡町
882番地2

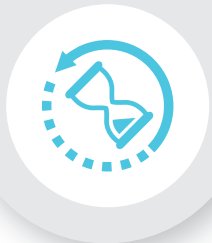
代表者 代表取締役 尾崎 俊也

設立 昭和38年2月4日

資本金 5,000万円

組織体制 Organization system





- 1975 11月 (有)山陰清掃社設立(鳥根県松江市)
- 1984 7月 東亜グループの一員となる
- 1994 4月 (有)山陰清掃社から「アース環境(株)」に社名変更
- 1999 9月 産業廃棄物焼却・サーマルリサイクルプラント竣工
- 2000 7月 産業廃棄物選別・リサイクルプラント竣工
- 2000 8月 竹矢地区自治協会8団体様と「環境に関する協定」を締結
- 2001 3月 鳥根県内の産業廃棄物処理業界で初めてISO14001を認証取得
- 2002 10月 松江市竹矢地区自治会協会様と共同で廃食油リサイクル事業スタート

2002

10月

山陰ビル管理(株)と、アース環境(株)が合併しアースサポート(株)へ社名変更

- 2003 10月 アースサポート(株)鳥取支店開設
- 2004 9月 アース建築・環境設計事務所設立・事業スタート
- 2005 6月 機密文書リサイクル事業スタート
- 2005 9月 RPFプラント及び風力・重量選別プラント竣工
- 2006 12月 計量証明事業所(濃度)に登録

1963-

2003

1963

6月

山陰ビル管理(株)設立
(鳥取県米子市)



1999.9 焼却炉



2000.7 選別プラント



2002.10 廃食油リサイクル事業

アースサポート株式会社は、ビル管理・清掃を事業としていた山陰ビル管理株式会社と廃棄物処理を事業としていたアース環境株式会社が合併し、生活空間そのものの環境保全、という新たなカテゴリーへと進出しました。わたしたちは、すべてのお客様に安心と快適な環境を提供するために、環境に関するあらゆる問題を解決する「トータルソリューション」を提案するリーディングカンパニーとして挑戦し続けます。

2007

4月

廃棄物管理サービス(管理代行)開始

2008

6月

食品リサイクルプラント竣工

5月

東京本部開設

11月

カーボンオフセット事業開始

2009

10月

BtoC解体事業スタート

2010

5月

「再生利用事業計画(リサイクル・ループ)」認定
(株式会社ふくしま様と共同)

2011

3月

Tポイント二次代理店として加盟

5月

「再生利用事業計画(リサイクル・ループ)」認定
(松江しんじ湖温泉旅館組合様と共同)

2013

1月

東京工場「エコウエル京浜島」開設

8月

タイヤリサイクルプラント竣工

11月

不用品回収事業「片付け堂」スタート

2014

6月

東京本部を赤坂に移転

2016

4月

圧縮施設竣工

6月

石尾産業(株)グループ参入により、
東京23区内の事業系一般廃棄物収集運搬事業参入

2017

4月

片付け堂フランチャイズ事業スタート

6月

不用品買取事業「買取り堂」スタート

3- 2010-



2005.9 RPFプラント



2016.4 圧縮施設



2005.9 風力選別プラント



2017.6 買取り堂



Earth Support Corporation

トップメッセージ

資源循環事業を通じて地球環境の保全に貢献するとともに、
不用品回収事業を全国展開することで高齢化社会の課題解決に寄与する。
様々な社会問題に対し、事業によってその解決を図る
「ソーシャル・アントレプレナー」を目指し、
より良い社会の構築のために積極的に活動する。

代表取締役社長 尾崎 俊也



平素は弊社業務につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、弊社の社会とのかかわり、地域とのかかわり、社員とのかかわり等、弊社が日々の経営に向き合う際にとても大切にしています様々な活動をまとめた『CSRレポート2018』を発行させていただくにあたり、関係各位に多くのご協力を賜りましたことを心より御礼申し上げます。

■「ごみのコンビニ片付け堂」サービスによって高齢化社会の課題解決に寄与する

平成29年度版高齢社会白書によると、我が国の65歳以上の高齢者は3,459万人、高齢化率は27.3%にのぼり、2025年には30%に到達すると予測されています。こうした社会の変化に伴い、廃棄物分野としては「ごみ出しが困難」、「遺品整理」、「空き家対策」等、様々な問題が生じています。一方で、そうした社会的な課題があるにも関わらず、“不用品回収といえばこの会社”という全国的に知名度の高い業者は存在せず、ニーズがあっても誰に相談していいかわからないというメインプレイヤー不在の状態が続いています。

この社会的課題を解決するために、弊社では2013年に個人様向けの不用品回収事業「ごみのコンビニ 片付け堂」をスタートさせ、山陰両県のお客様から高い支持をいただいています。そして、地元で培ったノウハウを活かして2017年からはFC(フランチャイズ)事業を開始し、現在

は北関東から四国地方まで14店舗まで店舗数を増やしています。将来的には北海道から沖縄まで200店舗の開設を目指し、全国どこでもお客様に安心して“不用品回収といえば片付け堂”と思っただけのような事業展開を行っていきたいと考えています。

■良き企業市民として地域に貢献する

弊社は「地域との共生を目指し、地域に喜ばれ必要とされる会社作り」を行うという経営理念を掲げており、“良き企業市民”であるための活動を積極的に行っています。

会社周辺の美化活動や、弊社地元の竹矢町にある松江市立竹矢小学校様に行っています環境図書の寄贈、松江市内の小学校に対して実施しています「出前環境授業」等、10年以上にわたって継続的に活動を続けることで、少しでも地域に貢献したいと考えています。

また、島根県を代表するプロバスケットチーム「島根スサノオマジック」のオフィシャルスポンサーとして支援を行っています。2017-18シーズンはチケットスポンサーとして、松江市、出雲市、安来市、雲南市の各小学校に対して毎試合250名の小学生を無料招待するという事業を行いました。子供達にトップリーグの試合を生で観戦していただくことで興奮や感動を体験していただき、郷土愛を持つことに少しでも貢献できればと考えています。

■働き方改革で生き生きとした会社づくりを目指す

国が2016年に「働き方改革実現推進室」を設置し、全国的に働き方改革が叫ばれるようになりました。弊社におきましても特に2016年に現場職員の労働力不足が深刻化し、その解消のために様々な取り組みを行ってきました。具体的には賃金等の雇用条件の改善、長時間労働の解消、高齢者の就労促進、そして女性の担い手募集です。また、評価制度や昇給・昇格のルールを明確化することで、弊社で働く社員一人ひとりが将来設計しやすいように改善いたしました。これからも長く弊社で働いてもらえるよう福利厚生充実にも注力し、社員にとって働きやすい会社づくりを目指し、様々な改善に継続的に取り組んでいきます。

このような思いを一冊にまとめたものが、今回作成した『CSRレポート2018』です。私たちは、お客様、社員、そして地域の方々に喜んでいただける会社作りをしていかなければならないと考えています。その思いをお客様や社員、地域の皆様と交わした『約束』と考え、これからも誠心誠意努めて参ります。

今後とも皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



NEWS 平成29年度持続可能な社会づくり活動表彰 理事長賞受賞

持続可能な社会づくり活動表彰とは、公益社団法人環境生活文化機構が主催しており、社会への貢献、環境教育及び生物多様性保全活動等、豊かな環境を引き継ぐため、環境、経済、社会が一体となった持続可能な社会づくりに資する活動を行

う企業・団体を表彰するものです。

今回、平成29年度の当表彰に当社が地元の子ども達などに行っている「環境教育」の活動について応募を行ったところ、「公益社団法人環境生活文化機構 理事長賞」を受賞しました。



NEWS フード・アクション・ニッポン アワード2017 入賞

フード・アクション・ニッポン アワードとは、農林水産省が主催しており、国産農林水産物の消費拡大に寄与する事業者・団体等の優れた取り組みを表彰し、全国へ発信することにより、事業者・団体等によるさらなる取り組みを促進することを目的として2009年に創設された表彰制度です。

今回、グループ会社の有限会社アースファームが生産したミニトマト「アイコ」を応募したところ、入賞100産品に選ばれました。10月には、東京で開催された最終審査会に参加し、審査員やバイヤーの方に試食をして頂きました。



トピックス

環境とのかかわり

地域とのかかわり

社会とのかかわり

お客様とのかかわり

社員とのかかわり



経済産業省 地域未来牽引企業に選定

地域経済牽引の担い手の候補となる地域の中核企業として経済産業省が選定する「地域未来牽引企業」に当社が選ばれました。

「地域未来牽引企業」とは、地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、地域に対して経済的波及効果を及ぼすことにより地域の経済成長を力

強く牽引する事業を積極的に展開することが期待されている企業のことです。当社としては、積極的な事業展開を行っていくことで地元である島根県に対し、経済的・社会的に更なる貢献を行ってまいります。



採用動画アワード2017 最優秀賞受賞

「採用動画アワード」は、山陰合同銀行様主催の『動画製作委員会』において動画を製作した企業の作品を放映し、来場者の中で最も高い支持を得た作品を表彰するイベントであり、今回、当社の採用動画が山陰部門で最優秀賞を受賞しました。この動画は、当社のイメージ戦略の一環として、

山陰合同銀行様を通じて中小企業向けブランディングの第一人者である村尾隆介氏率いる企業様に製作を依頼したもので、当社の社員も数多く撮影に参加しました。完成した動画は、当社のホームページや新卒採用の説明会等の場で公開しています。





がれき類破碎施設 更新

移動式のがれき類破碎施設（通称：ガラパゴス）の更新を行いました。新しい施設を導入したことにより、1日あたりの処理能力が約40%アップしました。



- 処理廃棄物 がれき類
- 処理能力 680t/日



平ボディユニック車 導入

当社2両目となるユニック車両を導入しました。一昨年に初めてユニック車両を導入して以降、お客様からの引き合いがとて多かったことから、追加導入を行いました。

車両は、最大積載量7.2トンの平ボディ車で、2立方メートルコンテナを4基積載することができます。





環境データ

●焼却炉排ガスデータ

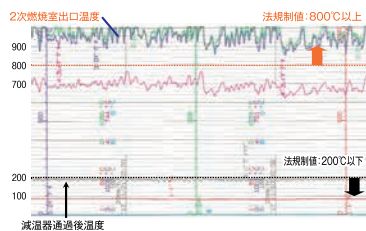
測定項目	測定値		法規制値	単位
	H29.5.11	H29.10.17		
ダイオキシン類	0.033	0.038	1	ng-TEQ/Nm3
塩化水素	91	7.9	700	mg/Nm3
ばいじん	0.013	0.004	0.08	g/Nm3
硫酸化物	0.31未満	0.21	25 25.95	Nm3/h
窒素酸化物	120	110	250	ppm
全水銀	0.45		50	μg/Nm3

●焼却炉燃え殻データ

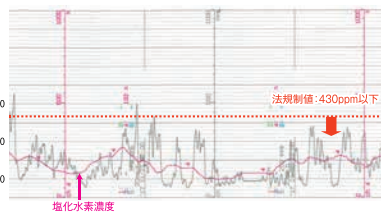
測定項目	測定値	法規制値	単位
	H29.6.9		
ダイオキシン類	0.38	3	ng-TEQ/g

測定項目	測定値	法規制値	単位
	H29.6.7		
カドミウム又はその化合物	N.D.	≤0.3	mg/㍑
鉛又はその化合物	N.D.	≤0.3	mg/㍑
六価クロム化合物	N.D.	≤1.5	mg/㍑
砒素又はその化合物	N.D.	≤0.3	mg/㍑
水銀又はその化合物	N.D.	≤0.005	mg/㍑
セレン又はその化合物	N.D.	≤0.3	mg/㍑
P C B	N.D.	≤0.003	mg/㍑

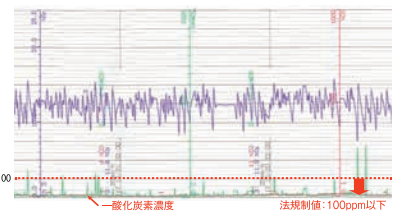
●焼却炉温度チャート



●焼却炉塩化水素濃度チャート



●焼却炉一酸化炭素濃度チャート



●排水データ

測定項目	測定値	法規制値	単位
	H29.11.7		
ダイオキシン類	0.00073	10	pg-TEQ/ℓ

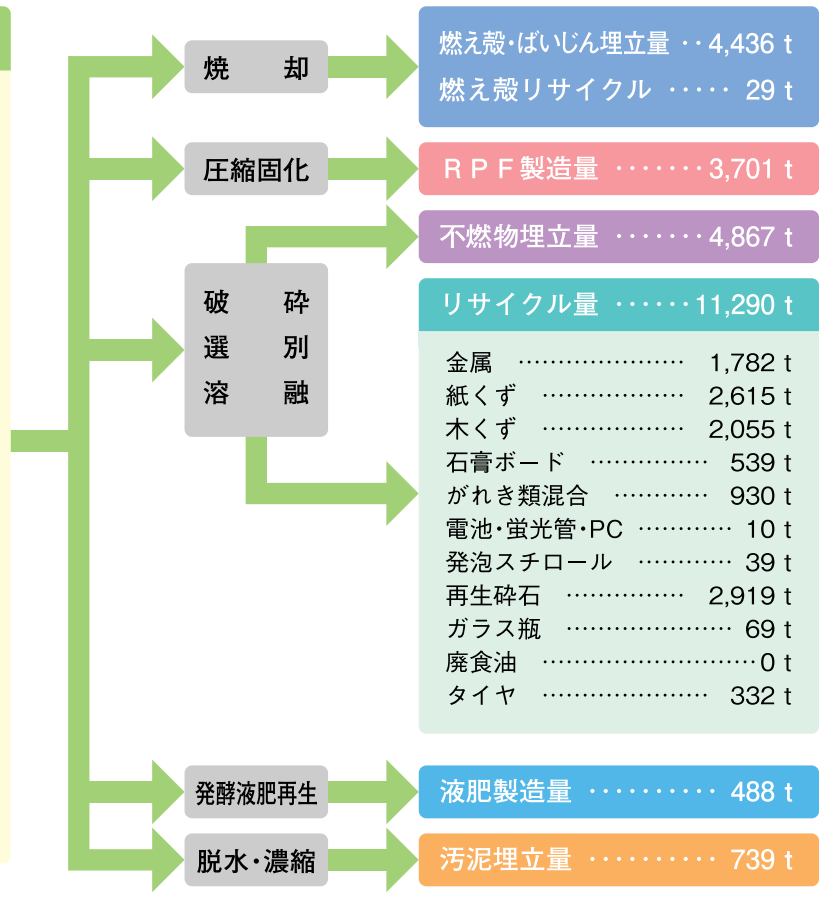
測定項目	測定値	法規制値	単位
	H29.9.20		
カドミウム化合物	N.D.	≤0.1	mg/ℓ
シアン化合物	N.D.	≤1	mg/ℓ
有機燐化合物	N.D.	≤1	mg/ℓ
鉛又はその化合物	N.D.	≤0.1	mg/ℓ
六価クロム化合物	N.D.	≤0.5	mg/ℓ
砒素及びその化合物	N.D.	≤0.1	mg/ℓ
水銀又はその化合物	N.D.	≤0.005	mg/ℓ
アルキル水銀化合物	検出せず	検出されないこと	mg/ℓ
P C B	N.D.	≤0.03	mg/ℓ
トリクロロエチレン	N.D.	≤0.3	mg/ℓ
テトラクロロエチレン	N.D.	≤0.1	mg/ℓ
ジクロロメタン	N.D.	≤0.2	mg/ℓ
四塩化炭素	N.D.	≤0.02	mg/ℓ
1, 2 - ジクロロエタン	0.0004	≤0.04	mg/ℓ
1, 1 - ジクロロエチレン	N.D.	≤0.2	mg/ℓ
シス-1, 2 - ジクロロエチレン	N.D.	≤0.4	mg/ℓ
1, 1, 1 - トリクロロエタン	N.D.	≤3	mg/ℓ
1, 1, 2 - トリクロロエタン	N.D.	≤0.06	mg/ℓ
1, 3 - ジクロロプロペン	N.D.	≤0.02	mg/ℓ
チウラム	N.D.	≤0.06	mg/ℓ
シマジン	N.D.	≤0.03	mg/ℓ
チオベンカルブ	N.D.	≤0.2	mg/ℓ
ベンゼン	N.D.	≤0.1	mg/ℓ
セレン及びその化合物	N.D.	≤0.1	mg/ℓ
硝酸性窒素・亜硝酸性窒素及びアンモニア性窒素含有量	0.6	≤100	mg/ℓ
ふっ素及びその化合物	N.D.	≤8	mg/ℓ
ほう素化合物	N.D.	≤15	mg/ℓ
1, 4 - ジオキサン	N.D.	≤0.5	mg/ℓ



廃棄物処理実績

廃棄物搬入量 32,404 t

- 汚泥 …………… 1,537.4 m³
- 廃油 …………… 99.8 m³
- 廃酸 …………… 56.5 m³
- 廃アルカリ …………… 157.3 m³
- 廃プラスチック類 …… 95,863.8 m³
- 紙くず …………… 6,788.1 m³
- 木くず …………… 21,937.4 m³
- 繊維くず …………… 904.3 m³
- 動植物性残さ …………… 516.1 m³
- ゴムくず …………… 0.1 m³
- 金属くず …………… 19,339.5 m³
- ガラスくず等 …………… 10,552.2 m³
- がれき類 …………… 5,342.5 m³
- 廃乾電池 …………… 2.4 m³
- 廃蛍光管 …………… 52.4 m³
- 引火性廃油 …………… 15.9 m³
- 強酸 …………… 2.1 m³
- 強アルカリ …………… 13.4 m³
- 感染性廃棄物 …………… 12,120.3 m³
- 一般廃棄物(RPF) …… 4,612.5 m³
- 一般廃棄物(液肥) …… 395.3 t
- 一般廃棄物(廃食油) …… 154.0 t
- 一般廃棄物(ダンボール) …… 2,461.3 t



H29.4.1～H30.3.31までの実績



リサイクル率

	最終処分率	リサイクル率
汚泥	99%	1%
廃油	100%	0%
廃酸	96%	4%
廃プラスチック類	28%	72%
紙くず	0%	100%
木くず	17%	83%
繊維くず	23%	77%
動植物性残さ	24%	76%
金属くず	2%	98%
ガラスくず等	91%	9%
がれき類	80%	20%
蛍光管・乾電池	68%	32%
他	100%	0%
全体	21%	79%

H29.4.1～H30.3.31までの実績

トピックス

環境とのかかわり

地域とのかかわり

社会とのかかわり

お客様とのかかわり

社員とのかかわり



ISO14001への取り組み

【基本理念】

アースサポート株式会社は、廃棄物の適正処理・リサイクル・清掃活動を通じて地球環境保全に貢献するとともに、都市空間のトータルサポートを目指し、お客様に安心して快適な環境を提供する。

【環境方針】

- ①環境目標を定め、その見直しを定期的に行うことにより、継続的な改善活動を行います。
- ②持続可能な資源の利用を推進するために、省エネルギー、廃棄物のリサイクル及び減容化に努めます。
- ③環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守するとともに、汚染の予防及び環境保護に努めます。
- ④環境教育・広報活動を通じて、生物多様性を含めた環境保全意識の向上を図ります。
- ⑤地域との共生を目指し、地域に喜ばれ、必要とされる会社づくりを行います。
- ⑥環境方針は、一般に開示します。

平成29年10月1日

代表取締役社長 尾崎 俊也

●環境目標と達成状況

目 的	平成28年度（平成28年10月～平成29年9月）		達成率
	目 標	結 果	
施設の安定稼働	目 標	焼却炉安定稼働180日以上	◎
	結 果	195日	
リサイクル率向上	目 標	リサイクル率53%以上	◎
	結 果	56.30%	
不用品事業の拡大	目 標	不用品事業の受注件数294件	◎
	結 果	298件	
施設の安定稼働	目 標	R P F施設の安定稼働（180h/月以上稼働）	◎
	結 果	193.5h/月	
苦情件数削減	目 標	発生件数年間48件以下	△
	結 果	51.5件/年	
処理量増加	目 標	東京工場右ライン安定稼働 90時間/月	◎
	結 果	95時間/月	

×：達成率が80%未満 △：達成率が80%以上100%未満 ○：達成率は100% ◎：達成率が100%を超えたもの



ISO14001 移行・定期審査結果

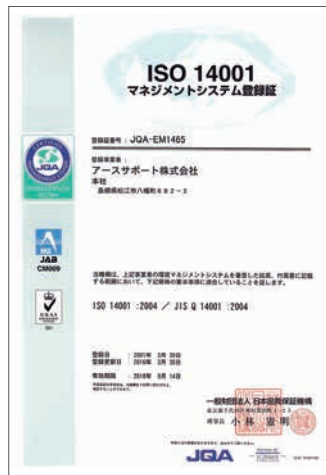
当社では、平成13年3月にISO14001を認証取得しました。平成26年2月には、東京のエコウェル京浜島においても認証取得し、認証サイトの拡大を行いました。

平成30年2月28日から3月2日にかけて、外部審査機関による定期審査及び2015版への移行審査が行われ、審査機関であるJQA（一般財団法人日本品質保証機構）の審査員1名の方の審査を受けました。取得以降、今回も含めて重大な不適合事項（改善指摘事項カテゴリ-A）や軽微な不適合事項（改善指摘事項カテゴリ-B）は無く、また、2015版への移行も問題なく行われていることから、引き続き認証継続とのご判断を頂きました。

また、当社が行っている活動について良い点をグッドポイントとして1件評価頂きました。具体的には、『水銀廃棄物に関する廃棄物処理法施行令の改正への対応として、「水銀に関する廃棄物処理法の改正説明会」を2017年9月に一般公開講

座として当社の企画・運営により開催されていました。また、社内では、法改正に先んじ2016年9月に蛍光管破砕機を新規導入し、廃蛍光管処理を事業として展開されていました。今回の法改正を好機と捉え、新たな顧客ニーズへの対応をタイムリーに行い、業界・地域貢献による信頼性の向上を図るとともに、自社の戦略的な新事業への展開に寄与する取組みとして高く評価できます。』といった内容でした。

今後は、移行した2015版に基づき、実務と一体となったマネジメントシステムの運用に注力してまいります。



● ISO更新

実施月	審査の種類	改善指摘事項A	改善指摘事項B	改善の機会	ストロングポイント	グッドポイント
H26年2月	更新審査	なし	なし	4件	なし	なし
H27年2月	定期審査	なし	なし	3件	なし	1件
H28年1月	更新審査	なし	なし	6件	1件	1件
H29年2月	定期審査	なし	なし	3件	なし	4件
H30年2月	移行・定期審査	なし	なし	5件	なし	1件



環境教育

平成12年頃より、地域の小学校へ出前授業を行っています。内容は、「ごみの分別方法とごみのゆくえ」と題し、家庭から出るごみのサンプルを持参して分別方法を説明します。その後、そのごみがどのように処理されるのか、リサイクルされるのかを説明します。併せて「ごみ回収車（パッカー車）のしくみ」と題し、学校にごみ回収車を持って行き、車両の仕組みを説明する他、実際にごみの投入体験もしてもらいます。運転席にも乗ることができるので、子供たちに人気です。

どの学校でも、子供たちは熱心に話を聞き、メモを取ったり、積極的に質問をしてくれます。毎回ご好評で、授業後には、子供たちからの感謝の

手紙が会社に寄せられます。この手紙は、全社員が読めるように社内に掲示をしています。（お名前等、個人情報はふせて掲示しています。）



- 「ごみの分別方法とごみのゆくえ」
- 「ごみ回収車（パッカー車）のしくみ」実施校

平成29年 5月11日(木)	持田小学校	4年生 2クラス	55名
平成29年 6月1日(木)	出雲郷小学校	4年生 3クラス	76名
平成29年 7月12日(水)	竹矢小学校	4年生 2クラス	47名
平成29年 8月31日(木)	雑賀小学校	4年生 2クラス	40名
平成29年 9月5日(火)	母衣小学校	4年生 3クラス	93名
平成29年 9月6日(水)	玉湯小学校	4年生 3クラス	65名
平成29年 9月19日(火)	意東小学校	4年生 2クラス	39名
平成29年 9月26日(火)	揖屋小学校	4年生 2クラス	55名
平成29年 9月28日(木)	川津小学校	4年生 3クラス	91名





保育園の環境教育

小学校のみに留まらず保育園でも環境教育を実施しています。今年度は、平成29年5月2日に松江市矢田町のしらゆり第3保育園の年長クラス30名に環境教育を行いました。当日は、イラストを使って生ごみがリサイクルされる仕組みを説明した後、液体肥料作りを体験してもらい、パッカー車の実演も行いました。液体肥料作り体験では、実際にその日の給食で使われる野菜の皮などを用い、細かくする作業や混ぜる作業を体験してもら



いました。また、パッカー車の実演では、ごみの投入体験や運転席に乗車してもらい、大変喜んでいただきました。そして、7日後の5月9日には、完成した液体肥料を実際に畑に撒く体験もしていただきました。

今後さらに幼稚園や保育園での環境教育を行っていけるよう、他園へのアプローチや内容の改善を行ってまいります。



食育

平成29年6月26日、竹矢小学校の4年生2クラス47名の児童を当社に招き、食育を行いました。当社の食品リサイクルシステムを説明した後、リサイクル施設を見学し、アースファームの農場で収穫体験をしてもらいました。「もったいない」の精神で食べ物を無駄にしないという気持ちを持ってもらうことと、残ってしまった食品残さはただ単に捨ててしまうのではなく、リサイクルして肥料にすることができるということ、そしてその肥料を使って美味しく地球環境にも優しい野菜を

作ることができるという、まさに「リサイクルループ」を実体験していただいています。

農場では、じゃがいもの収穫体験を行いました。クラス対抗で収穫したじゃがいもの大きさを競う催しを行ったところ、全員が張り切って大きいじゃがいもを収穫しようと頑張っていました。一番大きなじゃがいもを収穫したクラスには、金メダルをプレゼントしました。収穫されたじゃがいもは、後日家庭科の調理実習でカレーの具材として調理されたそうです。





図書寄贈

平成30年3月26日に竹矢小学校へ訪問し、「みどりの図書」の目録及び図書の寄贈を行いました。平成16年から始めた竹矢小学校への「みどりの図書」の寄贈も今年で13回目となりました。

校長先生からは、図書寄贈に対し、図書を購入する予算が少ない中でたくさんの図書を寄贈頂き、非常に助かっているとお言葉を頂きました。また、担当の先生より、新しい環境に関する図書を頂けるので、古い図書を破棄して、新しい図書を置くことができますとおっしゃって頂きました。長い期間ずっと続けられる地域貢献活動を今後も行っていきたいと考えています。



トビックス

環境とのかかわり

地域とのかかわり



環境フェスティバル2017

松江市環境フェスティバルは、多くの市民の方をはじめ、環境に関心の高い事業者、NPO、行政、自治体、教育機関、報道関係者などの参加により、環境関連の情報発信や交流など、楽しみながら学べる場を提供することにより市民の環境意識啓発の一環となることを目指して開催されています。

当社も毎年出展しており、平成29年11月5日にくにびきメッセで開催された「環境フェスティバル2017」においても、グループ会社である有限会社アースファームで栽培された野菜の販売を行ったほか、不用品回収サービス（ごみのコンビニ片付け堂）のパネル展示を行いました。リサイクルできる古紙や空缶をブースへ持参して頂いた方にTポイントをプレゼントする企画を行ったところ、空缶と古紙を袋に詰めて持って来てくださる方もおられました。



社会とのかかわり

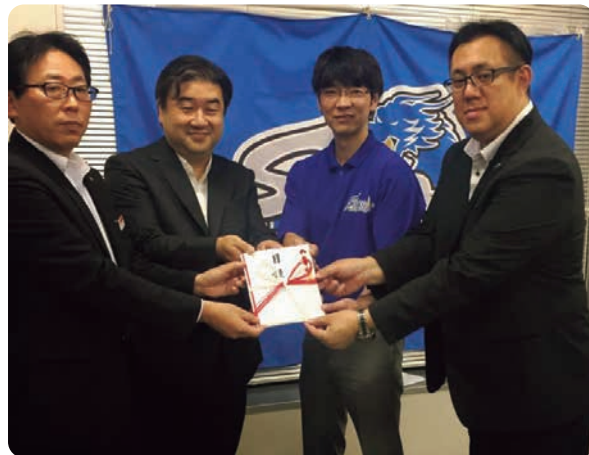
お客様とのかかわり

社員とのかかわり



島根スサノオマジックへ寄付金贈呈

平成29年8月25日に島根スサノオマジックに対して、寄付金の贈呈を行いました。これは、当社で発行した「寄贈型私募債（スポーツ振興型）」という債券の額面の0.1%ずつを発行会社である当社と受託会社である株式会社山陰合同銀行様とでそれぞれ拠出し、寄付金として地元のスポーツ団体に寄付することができるという仕組みのものです。今後も様々な形で地元のプロスポーツクラブである島根スサノオマジックへの支援を行っていきます。



トピックス

環境とのかかわり

地域とのかかわり

社会とのかかわり

お客様とのかかわり

社員とのかかわり

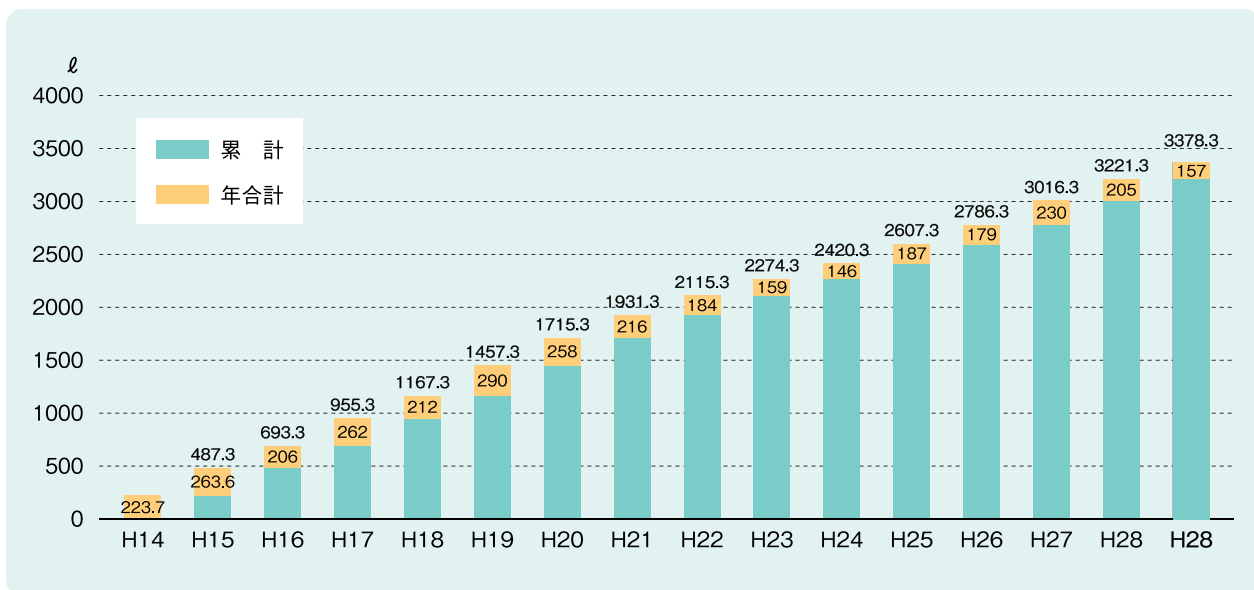


廃食油リサイクル

平成14年より、地元自治会様の各家庭から排出される廃食油を月1回収し、軽油代替油であるBDF（バイオディーゼル燃料）へリサイクルしています。リサイクルした燃料は、当社の重機や場

内車の燃料として利用しています。地域の皆様のご協力により、これまで3,378リットルの廃食油を回収させていただきました。

●廃食油回収量





地域清掃活動

当社では平成12年より、毎月2回事務所周辺の美化活動を行っております。また、毎年4月は22日のアースデイに合わせて多くの事務職員、現場職員が参加し美化活動を行っています。アースデイとは1970年、アメリカで“地球環境について考える日”として提案された記念日です。今年は22日が土曜日であったため、前日の21日に全社員に

声をかけ、通常の約2倍の人数で美化活動を行いました。

また、合わせて事務所の「省エネチェック」を行い、空調や水道について過度な温度設定や蛇口の閉め忘れなどが無いかどうか確認を行いました。今後も継続して地域の環境保全や地球温暖化防止に努めてまいります。



地元自治会様見学会

平成12年8月に地元の竹矢地区自治協会様をはじめとする8団体様と「環境に関する協定」を締結させていただき、それ以降行っている見学会も25回目を迎えることができました。これも地元自治会様はじめ、松江保健所様ほか関係各位の皆様のお力添えのお陰と感謝致しております。7月2日に行った見学会では、これまでの当社の取り組みや新施設導入について説明後、工場内の見学をし

ていただきました。

当社では「地域との共生を目指し、地域に喜ばれ、必要とされる会社作りをする」という経営理念を掲げており、今後も見学会やCSRレポート等を通して、徹底した情報公開、更なるリサイクルの推進、地域の環境活動への貢献などを積極的に情報発信してまいります。





不法投棄パトロール及び撤去作業への参加

島根県では、毎年2回、各保健所の主催により県下一斉合同パトロールを実施しています。このパトロールは、島根県が平成7年度から取り組んでいる「廃棄物適正処理対策推進事業」の一環として、また、環境省が平成19年度から主唱している「全国ごみ不法投棄監視ウィーク（5/30～6/5）」の協賛事業として行われています。パトロール対象地域は、島根県があらかじめ指定した「重点監

視地域」など不法投棄の発生が懸念される場所であり、当社も松江地区のパトロール作業と、その際に確認された不法投棄物の撤去作業に参加しました。毎年このようなパトロールや撤去活動が行われているにもかかわらず、不法投棄が後を絶たないのが現状です。今後もより一層不法投棄撲滅に向けて、適正処理の推進に力を入れてまいります。



ドライバーの安全研修

当社では、山陰地方を中心に約60台の車両が毎日行き交っており、周囲への影響が大きいことから、事故や迷惑行為が発生しないよう努めています。その一環として、年に1度、収集運搬作業に従事しているドライバーに対して安全運転に関する講習会を行っております。

今年は、松江警察署の方を講師にお招きし、事故の発生状況や事故が発生する原因、交通事故を防止する為の三つのテーマ（早めのライト点灯、横断歩道・交差点での安全確認、スピードダウンの励行）の実践、ハイビームの活用による視認性の確保について講演頂きました。今後も、安全運転を心掛け、無事故・無違反を徹底してまいります。



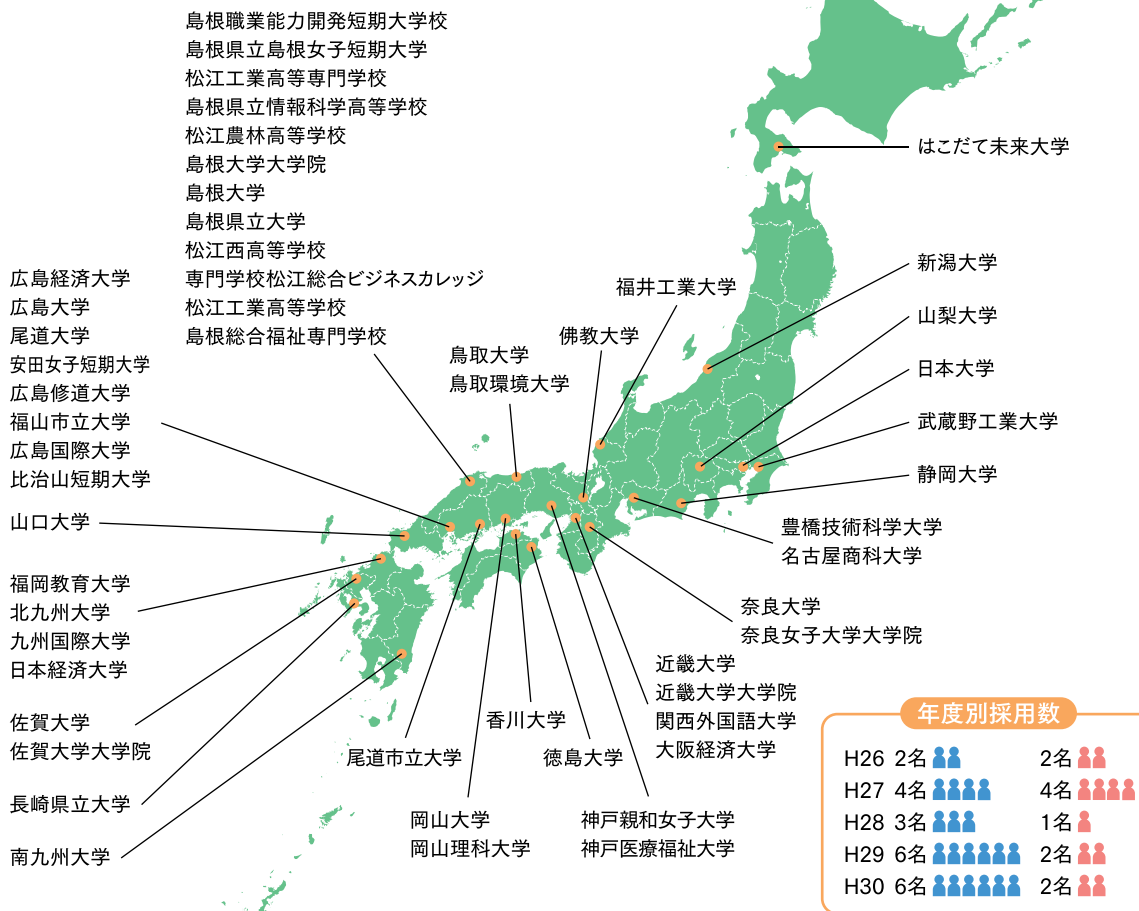


採用

当社では、毎年安定的な雇用確保のために新卒者を採用しています。平成30年4月には新たに8名の学生を採用いたしました。



● 新卒採用学生の出身学校マップ





水銀に関する廃棄物処理法の改正説明会

水銀に関する水俣条約の批准に伴い、平成29年10月1日付けで廃棄物処理法施行令等が改正されました。それに先立ち、改正についての説明会を9月6日（水）に開催し、70名の方にご参加頂きました。当日は、松江保健所環境保全課の廃棄物ご担当者1名をお招きし、「水銀を含む産業廃棄物の捨て方」についてご講演を頂きました。



第7回処理状況見学会の開催

平成23年4月1日より「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）」の一部改正により、排出事業者が産業廃棄物の収集運搬または処分を委託する場合、処理状況に関する確認を行うことが努力義務として明確化されました。この法律改正を受け、当社における産業廃棄物の処理状況確認見学会を毎年開催しています。今年は、7月5日、6日、7日の3日間で51名の方にご参加いただき、処理フローと最終処分先の説明、工場見学を行いました。ご回答いただきましたアンケートについて、一部ご紹介させていただきます。

- 日頃疑問に思っていることが解決できた。大変ありがたい催しだと思います。
- スタッフさんたちの準備が整っていて、感動しました。ありがとうございました。
- 以前より説明が分かり易く、創意工夫を感じました。現場の努力でしょうか。
- 場内をきれいにしておられ、作業環境も良いと思います。





第6回廃棄物管理セミナー

平成29年5月18日（木）、くにびきメッセにて「廃棄物セミナー」を開催させていただきました。毎年テーマを変えて開催している当セミナーも今年で6回目を迎え、今回も69名と大変多くの方にご参加いただきました。

第1部、第2部では松江保健所環境保全課の廃棄物ご担当者1名をお招きし、「よく分かる！廃棄物処理法の基礎知識」と「廃棄物の処理における排出事業者の責任と役割」についてご講演頂きました。



また、第3部では当社より水銀廃棄物に関する法改正を受け「水銀規制対策！省エネ

照明器具導入のメリット」として、LED照明等の導入の提案をさせていただきました。



片付け堂アンケート

「ごみのコンビニ片付け堂」として、ご家庭にある粗大ごみ等の不用品回収、家屋の解体、清掃、遺品整理などのお手伝いをさせていただいております。片付け堂のCMも地元の各テレビ局で放送させていただいており、お陰さまでこの分野でもたくさんのご依頼をいただいております。当社では、より良いサービスの提供を行えるように日々改善活動に取り組んでおり、ご協力いただけるお客様

からアンケートを書いていただいております。各項目に「非常に満足（非常に良い）」とチェックをいただいたり、更にはとてもありがたいコメントをいただいたりすることもあり、社員一同喜んでおります。これらの言葉を励みに、これからも廃棄物処理のプロとして安心してお任せいただけるよう努力してまいります。

●松江市J様

「初めての実家の片付けにとまどいながらも、こちらの要望に丁寧に対応して下さり安心しておまかせすることができました。価格も思ったよりも安く、ホッとしています。スタッフの方も丁寧な作業で、感心するばかり。今後ともお願いしたく思います。」

●松江市U様

「処分する期限がある中、迅速に対応していただき大変助かりました。当日、見積り以外のゴミも引き取っていただき、こちらも大変助かりました。」

●出雲市O様

「分別をきちんとされ、確認しながら作業していただきました。気になっていたところ、思いきって処分してきれいになりました。ありがとうございます。」



買取り堂アンケート

平成29年6月1日より松江市西津田にて不用品買取り専門店「買取り堂 by アースサポート」を運営しており、お陰様で多くのお客様にご来店頂いております。ご来店いただいたお客様からは、ありがたい口コミを頂き、運営スタッフ一同とても感謝しております。今後もより一層質の高い接客を行うなど、お客様に喜んで頂けるような店舗作りをおこなってまいります。

- 松江市30代女性
「チラシを見て初めて来ました。他のお店とは少し違う雰囲気です。査定して下さった方もきさくな方ですごく良かったです。また何かあれば持っていこうと思います。」
- 松江市50代女性
「こちらに売りに来たのは3回目ですが、毎回良くして頂いています。また、ちょくちょくきます。」
- 松江市30代男性
「以前にも工具を高く買って頂いたので、また持ってきました。また利用します。」



トビックス

環境とのかかわり

地域とのかかわり

社会とのかかわり

お客様とのかかわり

社員とのかかわり



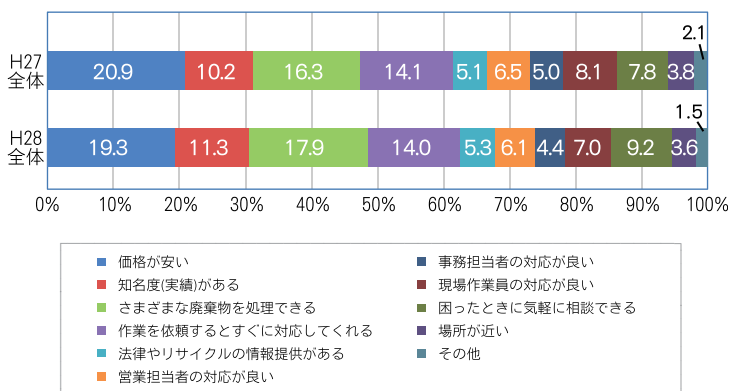
お客様アンケート

お客様満足度向上に向け、年1回顧客アンケートを行っています。ご回答いただきましたお客様には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。主なアンケート結果は次のとおりです。

アンケート送付枚数：1,946枚 ⇒ 返送枚数：455枚（返送率：23.4%）

① 廃棄物処理業者の選定にあたって重視する項目

廃棄物処理業者を選定する際、お客様がどういった点を重視しているのかについてお答え頂きました。結果、昨年に引き続き「価格が安い」が一番重視されていますが、割合は年々減少しています。一方、「さまざまな廃棄物を処理できる」の割合が年々増加しています。

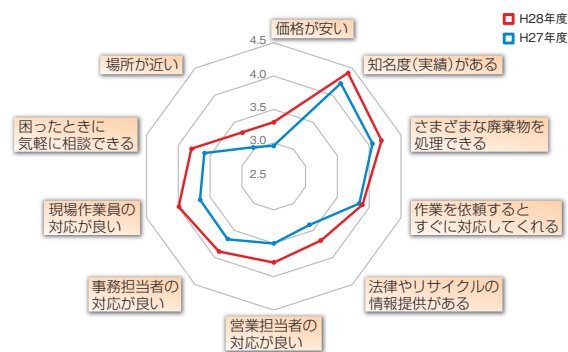


重視する項目 ベスト5

- 第1位 価格が安い (19.3%)
- 第2位 さまざまな廃棄物を処理できる (17.9%)
- 第3位 作業を依頼するとすぐに対応してくれる (14.0%)
- 第4位 知名度(実績)がある (11.3%)
- 第5位 困ったときに気軽に相談できる (9.2%)

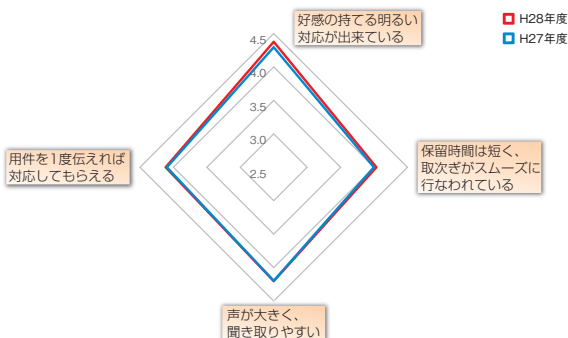
② サービス満足度

廃棄物処理業者の選定にあたって重視する項目を当社に当てはめた場合のそれぞれの満足度についてお答えいただきました。全体的に満足度は過去と比較して向上しており、特に「価格が安い」「現場作業員の対応が良い」といった点の評価が大きく上振れました。



③ 電話対応の満足度

電話対応の満足度についてお答えいただきました。結果、前回とほぼ同じ評価でありました。一方、「好感の持てる明るい対応が出来る」の項目については、前回よりも評価が少し下振れています。今後、更なる電話対応の質の向上に努めてまいります。





レクリエーション

社員が夢を持てる会社作りプロジェクトチームが企画、運営を行い、各種イベントを実施しています。

今年の社員旅行は名古屋で、名古屋城やリニア・鉄道館を訪れたり、ひつまぶしやしめめんなどのグルメを堪能しました。天候にも恵まれ、社員同士の親睦を深めることが出来ました。

また、社員だけでなく社員のご家族もご参加いただけるイベントとして、スサノオマジックの観戦ツアーも複数回実施しました。



家族見学会(ファミリーデー)

社員のご家族を会社に招いて、普段どんな職場で働いているのか、アースサポートがどんなことをしているのかを知っていただきたいと思い、毎年1回家族見学会を開催しています。今年で15回目となる見学会を平成29年7月9日に開催し、20家族67名の皆様に参加いただきました。当日は、会社の概要について説明後、クイズやゲームをしながら施設の見学を行いました。毎年、小さなお子さんの参加も多く、特に重機や各種収集車両への乗車や記念撮影が人気でした。普段なかなか目にすることのできない工作中的の姿や風景に触れて

いただき、また毎年恒例となっている社員からご家族に向けたメッセージビデオの上映もあり、帰宅後、社員とご家族の会話も弾んだのではないかと思います。





事業報告会

当社では全社員が集まる事業報告会を年2回開催しています。社長から今後の方向性や会社のビジョンを説明し、その後、各部署とプロジェクトチームごとに目標の達成状況を発表します。12月に行われる発表会では、各種表彰も行われるなど、社員が盛り上がるイベントとなっています。前年度に会社への貢献度が高く先進的な取り組みを行った事業に対しては、年間MVP賞を授与しま



す。MVPは、事前に社員が自ら経営幹部にプレゼンテーションを行い、その結果がこの発表会で行われます。そのほか、「新人賞」「ムードメーカーで賞」「プロフェッショナルで賞」など、個人賞も発表されます。勤務時間や勤務場所が異なる社員同士が顔を合わせ、他部署の発表内容を聞くことでコミュニケーションを円滑に図ることができる貴重な機会となっています。



社員研修

当社では、お客様に質の高いサービスを提供できるように社員教育に力を入れています。新入社員に対しては、約1ヶ月に渡って各部署からの講義や現場研修を行います。そして、最終的には先輩社員によるロールプレイング（工場案内や産業廃棄物管理票（マニフェスト）の説明）をすることによって、1ヶ月間に亘る研修の締めくくりとしています。



また、入社後半年から1年半経過した社員に向けて、廃棄物に関する法律の勉強会を行っています。法律の研修は入社時にも行いますが、実際に業務を経験した上で再度勉強会を行う事で、入社時よりも知識が身に付きやすくなり、業務のレベルアップを図ることに繋がります。今後もお客様にご満足頂けるよう、社員研修に積極的に取り組んでまいります。





表彰制度

あらゆる表彰制度によって、社員のモチベーションアップに努めています。

社長賞・常務賞・努力賞	会社事業への貢献度が高い取り組みがあった職員への報奨
売上目標達成賞	営業部が個人で掲げている売上目標を達成した場合、毎月行われる報奨
お褒めの言葉賞	お客様からお褒めいただいた職員への報奨
A重油ランキング賞	焼却炉の運転において、消費するA重油の量が少なかった上位3名の職員への報奨
収集班対抗表彰	安全運転ランキングや身だしなみ、法律テスト結果などを点数化し、班対抗で1位のチームのメンバーを報奨
年間MVP賞	1年間でアースサポートに新たな価値を生み出した取り組みを行った上位3位の職員またはチームへの報奨
電話対応コンクール	年3回程度、事務系職員が録音した電話対応をエントリーし、社内審査後、上位3名を表彰
各種個人賞	年1回、「看板賞」「ムードメーカーで賞」といった社内投票による個人表彰



働きやすい職場づくり

当社の事務系社員は、平均年齢が31歳、うち女性社員が半分と高い割合を占めています。女性社員の出産後の復職率は100%（全国の育児休暇取得率81.5%）です。子供のいる社員も増え、より働きやすい職場づくりをめざし、当社では法律で規定されている優遇体制をより利用しやすい規定に変更しています。

（例）

	育児・介護休業法	当社規定
看護休暇	年間5日まで取得可能	年間7日まで取得可能
短時間勤務	子が3歳まで適用	子が小学校3年生まで適用

また、福利厚生の実策の一環として、平成29年6月より、1時間単位で有給休暇の取得が行える制度を導入しました。これまで、半日単位でしか有給休暇を取得できませんでしたが、今回の制度導入により、社員がより柔軟に有給休暇制度を利用できるようになりました。



資格者一覧

廃棄物関係	人数
化学物質管理者	1
ごみ処理施設技術管理士	2
特別管理産業廃棄物処分業の許可に関する講習会修了者	1
産業廃棄物中間処理施設技術管理者	2
産業廃棄物焼却施設技術管理者	4
特別管理産業廃棄物管理責任者	5
産業廃棄物収集運搬業の許可に関する講習会修了者	29
石綿取扱い作業従事者特別教育修了者	4
特定化学物質等作業主任者	2
環境管理士	1
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	6
酸欠危険作業特別教育修了者	2
毒劇物取扱責任者	1
粉じん作業特別教育修了者	2
環境計量士（濃度関係）	1
甲種防火管理者	1
廃棄物焼却施設におけるダイオキシソ類対策に係る作業指揮者養成研修修了者	1
一般廃棄物収集運搬・処分業者講習修了者	1
一廃焼却施設技術管理者講習修了者	1
破砕・リサイクル施設技術管理士	1

平成30年4月末現在

清掃関係	人数
第一種衛生管理者	3
下水道排水設備工事責任技術者	1
ビルクリーニング技能士	1
建築物環境衛生管理技術者	1
建築物統括管理者	1
防除作業監督者	1
清掃作業監督者	1
貯水槽清掃作業監督者	1
空気環境測定実施者	1
一級建築士	1
一級建築施工管理技士	1
清掃作業従事者研修指導者	1
貯水槽清掃作業従事者研修修了者	2

平成30年4月末現在

その他	人数
警備員指導教育修了者責任者（1、2号）	1
交通誘導警備1級	1
雑踏警備業務1級	1
危険物取扱者	9
足場組立て等作業主任者技能講習修了者	1
アーク溶接等業務特別教育修了者	15
ガス溶接技能講習修了者	9
運行管理者	1
研削といしの取替え又試運転の業務特別教育修了者	6
高所作業車特別教育修了者（10m未満）修了者	4
高所作業車運転技能講習修了者（10m以上）修了者	4
大型特殊自動車免許所有者	3
牽引免許所有者	2
玉掛業務特別教育修了者	17
玉掛業務技能講習修了者	17
大型自動車免許所有者	27
床上操作式クレーン運転業務特別教育修了者	21
小型移動式クレーン運転業務特別教育修了者	8
小型移動式クレーン運転業務技能講習修了者	14
ローラー運転業務特別教育修了者	1
小型車両系建設機械（整地等）の運転特別教育修了者	10
車両系建設機械（整地・運搬・積込み用及び掘削用）運転技能講習修了者	29
車両系建設機械（解体用）運転技能講習修了者	8
車両系建設機械（解体用）運転技能特例講習修了者	16
普通救命講習修了者	29
フォークリフト運転技能講習修了者	42
土止支保工作業主任者	1
地山の発削作業主任者	1
二級ボイラー技士	1
自由研削といしの取換え等業務特別教育修了者	1
石綿使用建築物等解体特別教育修了者	2
駐車監視員	2
2級土木施工管理技士	3
解体工事施工技士資格者	1
ISO14001内部環境監査員	12
整備管理者選任前研修修了者	1
安全衛生教育修了者（建設工事に従事する労働者）	1
労働安全衛生法による特別教育修了者	1
職長・安全衛生責任者教育修了者	3
PCB廃棄物収集運搬業作業従事者講習修了者	2
安全運転管理者講習修了者	2
第3種電気主任技師	1
定期点検技術者講習修了者	1
KYITレーナー	2
はい作業主任者	1
安全管理者選任時研修修了者	1
労働安全衛生法による技能講習修了者（特化四鉛）	1
酒類販売管理者	1

平成30年4月末現在

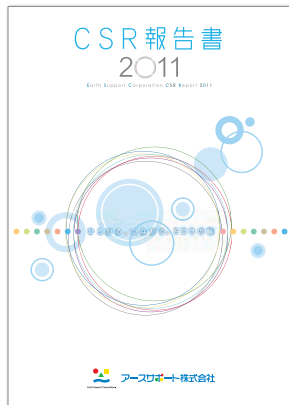
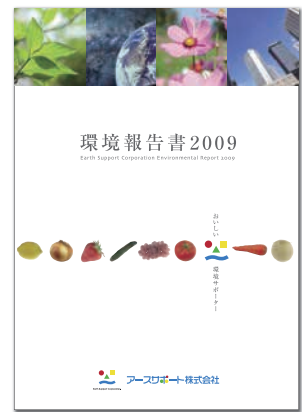
● 編集後記 ●

『CSRレポート2018』は、対象期間を平成29年4月1日から平成30年3月31日までとし、アースサポート株式会社の全事業について掲載しています。関係各位の皆様方にご助力いただきましたことを改めて御礼申し上げます。

私たちは、環境に対する取り組みだけでなく、地域や社会、お客様、社員に対するさまざまな取り組みを実施するとともに、その情報公開に努めてまいりました。地域の皆様をはじめ、一般の方にも読みやすいよう写真を多く使用し、わかりやすく読みやすい報告書の製作を心がけています。そのため、内容に不十分なところも多々ございますので、ぜひ皆様のご意見をご参考にし、今後のより良いCSRレポートづくりに取り組んで参りたいと考えております。

編集・製作 CSR推進部

過去の環境報告書・CSR報告書



「アースサポート株式会社 CSRレポート2018」 をお読みいただきありがとうございました。

このCSRレポートは、当社の環境活動をはじめ、社会活動、社員への活動を含めたサステナビリティレポートに近い形にしております。わたしたちの活動内容を皆様にはわかりやすくお伝えできるよう作成しましたが、不十分な点があると思いますので、ぜひ皆様のご意見・ご感想をお聞かせくださいますようお願いいたします。

裏面のアンケートにご回答の上、FAXにてお送りいただくか、右下のアンケートはがきに回答をご記入の上、そのまま投函くださいますようお願いいたします。

アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で、
QUOカード500円分をプレゼントいたします。



切手を貼らずに投函してください。

差出有効期間
平成31年9月
30日まで



料金受取人払郵便



アースサポート株式会社 行

島根県松江市八幡町八二番地一

646

郵便はがき
6 9 0 8 7 9 0

郵便はがき



FAX:0852-37-2892

Q1 アースサポート株式会社CSRレポート2018をご覧になって、どのように感じられましたか？

①当社の環境・社会活動について

1. 非常に評価できる 2. 評価できる 3. ふつう
4. あまり評価できない 5. 評価できない

②わかりやすさについて

1. 非常にわかりやすい 2. わかりやすい 3. ふつう
4. ややわかりにくい 5. わかりにくい

③内容について

1. 非常に充実している 2. 充実している 3. ふつう
4. ややもの足りない 5. もの足りない

Q2 本報告書の中で、特に興味を持たれたものはどの項目ですか？（複数可）

1. アースサポートのあゆみ 2. トップメッセージ 3. トピックス 4. 環境とのかかわり
5. 地域とのかかわり 6. 社会とのかかわり 7. お客様とのかかわり 8. 社員とのかかわり

Q3 本報告書をどのような立場でご覧になりましたか？

1. 一般 2. お取引先 3. NPO・NGO 4. 学生 5. 行政関係 6. 社員・ご家族
7. 研究・教育機関 8. 当社近隣の方 9. 報道関係 10. その他

Q4 本報告書をどのようなカタチでお知りになりましたか？

1. 当社からの郵送 2. 当社ホームページ 3. メールマガジン
4. 当社従業員より 5. その他（ ）

Q5 今後のアースサポートの活動に望まれること、期待されること

Q6 本報告書に関するご意見等ございましたらご記入をお願いいたします

CSRレポート2018アンケート

Q1 ① ② ③

Q2 _____

Q3

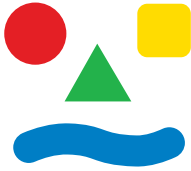
Q4

Q5 _____

Q6 _____

お名前 _____
〒 _____
住 所 _____
電 話 _____
E-mail _____

◀ 切り取って郵送いただくか、
このままFAXしてください。
※記入していただいた個人情報は、
本アンケート以外の目的で
使用いたしません。



Earth Support Corporation.

アースサポート株式会社

本社／〒690-0025 島根県松江市八幡町882番地2
TEL 0852-37-2890 FAX 0852-37-2892
E-mail:earth@earth-support.jp

東京本部／〒107-0052 東京都港区赤坂4丁目4-14
未来環境創造ビル3F
TEL 03-6441-2900 FAX 03-6441-2920

<http://www.earth-support.jp>



ISO 14001
JQA-EM1465
本社:エコエル原浜島
廃棄物リサイクル



アースサポート株式会社は
島根スサノオマジックを応援しています。